

2025年8月27日

プレスリリース

ヒューマンライフコード株式会社

「経済産業省 令和7年度ヘルスケア産業国際展開推進事業」に採択

～～その緒からの細胞で切り拓く、次世代型・先制医療の実証プロジェクト～

世界に先駆けて臍帯由来の間葉系間質細胞を再生医療等製品として実用化を目指すヒューマンライフコード株式会社（代表取締役社長：原田 雅充、所在地：東京都中央区、以下「当社」）は、このたび経済産業省（執行団体：一般社団法人 **Medical Excellence JAPAN**）が公募する「令和7年度ヘルスケア産業国際展開推進事業」（以下「本補助事業」）に採択されました。

- ・プロジェクト名：「インドネシアにおける臍帯由来間葉系細胞※による先制医療サプライチェーン構築の実証調査プロジェクト」
- ・MEJ 公募結果リリース：<https://medicalexcellencejapan.org/jp/publicoffering/detail/762/>

本補助事業は、我が国が高い競争力を有する医療や介護等のヘルスケアに関して、技術及びサービス、製品の強みを活かした戦略的な海外展開を計画・実施する医療機関や企業等の事業者の基礎調査及び実証調査の費用を補助することによって、国内のヘルスケア製品・サービスの海外展開を促進させることを目的としています。当社は、東京大学医科学研究所発の技術を基盤に臍帯由来間葉系間質細胞を活用した再生医療等製品の開発を進めており、日本国内に加え、海外での社会実装にも取り組んでいます。

今回採択されたプロジェクトでは、人口規模、市場規模が大きいインドネシアを対象に、現地パートナー企業と連携し、細胞治療を取り巻く現地法規制への対応検討、当社臍帯由来細胞の製造・供給体制構築の実現性検討、臨床研究開始に向けての現地専門家へのヒアリング等の調査を実施します。人口高齢化や医療アクセスの格差といった課題を抱える新興国において、現地製造・現地消費型の細胞医療エコシステム構築を目指す取り組みです。

当社は今後も、高品質かつ安定的大量製造が可能な、当社が開発する臍帯由来間葉系間質細胞を活用し、次世代の医療を必要とする世界中の患者さんに、一日も早く安全で有効な治療を届けられるよう、グローバルな事業展開を加速してまいります。

※注釈

公募・採択時の事業名には「間葉系細胞」と記載されていますが、再生医療学会（2025年5月29日付）における発表に基づき、幹細胞としての誤解を避け、国際的な用語（ISCT、ISSCR、FDA等）と整合する「間葉系間質細胞」を用いることが適切とされているため、本リリース本文では「間葉系間質細胞」に統一しています。

■ヒューマンライフコード株式会社について(<https://humanlifecord.com/>)

ヒューマンライフコード株式会社は、臍帯（へその緒）を原料とする“ヒトにやさしい”細胞治療の開発を通じて、難治性・希少疾患の患者さんに新たな治療選択肢を届け、健康寿命の延伸に貢献するバイオ創薬スタートアップです。臨床グレードの製造技術を強みに、再生医療等製品としての実用化を目指し、国内外のパートナーとともに「へその緒がつなぐ“ありがとう”が連鎖する社会」の実現に挑んでいます。2019年「第1回東京ベンチャー企業選手権大会」最優秀賞&東京都知事賞受賞。東京都主催「スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム」が運営する「ディープ・エコシステム」の支援対象企業に選定。2023年内閣府主催「第5回日本オープンイノベーション大賞」厚生労働大臣賞受賞。2023年経済産業省によるスタートアップ支援プログラム「J-Startup」選定企業。2024年東京商工会議所主催「勇気ある経営大賞」スタートアップ部門大賞受賞。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当 林 友紀

E-mail: info@humanlifecord.com / TEL: 080-4671-0405